

平成31年度事業計画書

(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

はじめに

『子供の時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を体で感じながら心を耕していくことは、人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産であるに違いない』という財団設立の“人づくり”の理念の基、事業を続けてまいりました。

本年度4年目を迎える「子どもまちなか生き物塾」については、“かけがえのない自然を、人間の知恵で、後世に永く残せるように、何をなすべきなのか”を子ども達と共に考えるプログラムでありまして、守屋 開先生を総合コーディネーターとして、又、地元の中の島小学校及び中の島一区第3町内会の協力を得て実施します。

具体的には、“精進川の水生生物と命のつながりシリーズ”として『Ⅰ 精進川の自然に遊んで科学する』『Ⅱ 精進川の源流から川の一生を体験する』を、精進川の源流部探査と街中を流れる下流域をフィールドとして実施します。

又、“地球の進化史を探るシリーズ”として『Ⅲ 磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る』を、北海道大学の忍路臨海実験所とその前に広がる海浜をフィールドとし、更に、札幌市南部(豊平川流域)をフィールドとして『Ⅳ 石は語る、地質観察をとおして札幌の成り立ちを探る』を実施します。

いずれのプログラムも科学的な観察や分析をとおして自然界の不思議な仕組みを理解し、更なる興味へと繋ぐプログラム構成といたします。

更に普及に係る活動の一環として進めている「青山慎一先生の子ども世界の昆虫館」も開館6周年を迎え、Web公開を継続する予定です。

以上のことを踏まえ事業計画を策定しました。

事業ごとの計画は、以下のとおりです。

1、定款第4条第1項第1号に掲げる事業を次の計画により実施する。

(1) 自然体験活動の主催事業（公益目的事業1）

ア、活動名 「子どもまちなか生き物塾」

①精進川の水生生物と命のつながりシリーズ

(目的)

中の島地区を流れる精進川の自然を主なフィールドとして、精進川の流域生態系を中心に自然界の“命のつながり”の仕組みを学びます。この体験を通して、生物多様性の重要性について関心と理解を深め、かけがえのない自然を、人間の知恵で、後世に残せるように、何をなすべきなのか、子供たちと共に考えます。

●プログラムⅠ 精進川の自然に遊んで科学する！

(活動のねらい)

街中を流れる精進川やその河畔林に生息する生物の観察・採集及び環境調査・土壌採取、分析をとおして、自然界の仕組み（命のつながり）や河川生態系について学び、かけがえのない自然を後世に永く残せるように、何をなすべきかを考えます。

○主任講師 守屋 開先生（日本生態学会員・日本陸水学会員・元札幌旭丘高校長・財団評議員）

○指導者 財団 5名

○看護師 外部 1名、

○協力者 外部 2名

○募集人員 30名（子ども 25名、大人 5名）

○実施日 7月27日（土）

○活動場所 精進川（豊中公園沿い）、中の島小学校理科室

○主なプログラム

- ・水生生物等の観察・採集
- ・河畔林の環境調査・土壌採取
- ・生物の分析と同定、解説

●プログラムⅡ 精進川の源流から川の一生を体験する！

(活動のねらい)

サクラマスの遡上も確認されている街中を流れる精進川の源流部から下流域までを探索しながら、豊平川の支流としての「川の一生」を体験します。一般的に、河川は源流部から下流まで河川勾配も緩やかになり、水量が増すとともに川幅が大きくなり、水質や生息生物も変化することを確認し、環境に適応して生息する生物について学びます。

○主任講師 守屋 開先生（日本生態学会員・日本陸水学会員・元札幌旭丘高校長・財団評議員）

○指導者 財団 5名

○看護師 外部 1名

○募集人員 30名（子ども 25名、大人 5名）

- 実施日 8月10日(土)
- 活動場所 精進川の上流域、中流域、下流域(豊中公園沿い)
- 主なプログラム
 - ・環境調査及び川の一生体験
 - ・水生生物等の採集 ・カワシンジュガイの学習

②地球の進化史を探るシリーズ

●III 磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る！

(活動のねらい)

地球の生命史と生物の種類の多様性について、採集体験をしながら学習します。海にすんでいる様々な生物を観察すると、地球の自然や歴史、そしてなによりも生物の不思議さを体験します。採集した生物を、顕微鏡等を使って観察・同定(種類を調べる)作業しながら、命のつながりについて学び、この地球上にいる生物の多様性がいかに必要か視野を広げます。

- 主任講師 守屋 開先生 (日本生態学会員・日本陸水学会員・元札幌旭丘高校長・財団評議員)
- 講師 横山武彦先生 (財団評議員)
他外部講師1名
- 指導者 財団 5名
- 看護師 外部 1名
- 募集人員 30名(子ども 25名、大人 5名)
- 実施日 7月15日(月・海の日)
- 活動場所 北大忍路臨海実験所横の磯、北大忍路臨海実験所
- 主なプログラム
 - ・磯採集
 - ・採集した生物の同定
 - ・分類パズル、飼育法解説、生命進化についてのお話

●IV 石は語る、地質観察をとおして札幌の成り立ちを探る！

(活動のねらい)

豊平川を下流から上流に遡りながら、5か所の地点で扇状地や河岸段丘などの地形の観察、露頭や岩石の観察、化石の採取を行い、どの時代にどのような自然現象が起きたかを調べる。これらの観察結果や採取した化石等からわかることをグループでまとめた後、発表しあい、それらを統合・総合化して札幌のジオストーリーを作る。これらの活動をとおして自然について興味関心を高めるだけでなく、科学的に考える力、表現する力を育成します。

- 主任講師 岡本 研先生(東海大学札幌教育センター教授・地質研究者)
- 講師 宮嶋衛次先生(千歳科学技術大学教授・財団理事)
- 指導者 東海大学札幌校地学サークル学生5名予定
財団 3名
- 看護師 外部 1名
- 募集人員 30名

- 実施日 8月31日(土)
- 活動場所 札幌市南部(豊平川の下流から上流)
- 主なプログラム
 - ・藻南公園・石山緑地・硬石山地質観察
 - ・砥山河原地質観察 ・ジオストーリー作成と発表

イ、名義後援

- ・札幌市 ・札幌市教育委員会
- ・中の島魅力ある地域づくりの会(精進川の水生生物と命のつながりシリーズ)

ウ、協力

- ・札幌市立中の島小学校 ・中の島一区第3町内会
- ・北大忍路臨海実験所(該当プログラム)

エ、募集対象

昨年は全コース満員でお断りした申込者が多数ありましたので、本年度は募集対象を一部見直しします。

- ・小学4年生～6年生とします。
小学1年生～3年生については、保護者同伴の場合のみとします。
- ・「石は語る、地質観察」は小学5年・6年生に限定します。

※昨年との変更点

- ・中学生は対象外とします。
- ・保護者は小学1年生～3年生に同伴する場合のみに限定します。

オ、募集方法 札幌市内小学校等へチラシ配布 76校 21000枚
申し込み手段 メールとファックス

(2) 普及活動

青山慎一先生の子ども世界の昆虫館

- ・標本のWeb公開を継続する。

以上